

## News Release

2022年6月16日  
フエニックス・コンタクト株式会社

### PHOENIX CONTACT と TE Connectivity、 シングルペアイーサネット ハイブリッドケーブルアセンブリの共同開発契約を発表

<※当プレスリリースは2022年5月17日（現地時間）PHOENIX CONTACT（本社：ドイツ、ブロンベルグ）と TE Connectivity（TE）（本社：スイス・シャフハウゼン）による共同発表リリースの抄訳です。>

**【2022年6月16日 — スイス、シャフハウゼン発】**産業用接続機器、制御製品およびオートメーションソリューションのマーケットリーダーである PHOENIX CONTACT（本社：ドイツ、ブロンベルグ）は、TE Connectivity（TE）（本社：スイス、シャフハウゼン）と新しいシングルペアイーサネット（SPE）M12 ハイブリッド接続技術の共同開発を行います。M12 コネクタは、国際電気標準会議（IEC）63171-7 規格で規定されたハイブリッド形式に準拠しており、IEC での標準化は 2021 年初頭に TE の主導のもとで開始されました。

今回の合意は、主要な業界団体や業界全体に存在する IEC 63171-7 規格への支持を反映し、産業分野における SPE の市場導入を促進するという共通の目標を持ち、コネクタにおいて高い専門性を持つグローバル企業 2 社のイノベーションを結集させたものです。

TE Connectivity のグローバル プロダクトマネージメントリーダーである Priyank Kishor は、次のように述べています。「SPE Industrial Partner Network の創設メンバーとして、TE は SPE の強力な利点を産業用ネットワークに提供することに取り組んでいます。SPE を既存のインフラに簡単に統合するハイブリッドなインターフェースを開発するロードマップを共有しました。PHOENIX CONTACT 社とのコラボレーションにより、SPE の普及を可能にするソリューションを確立するため協力することができるようになります。」

IEC 63171-7 規格は、M12 サイズの SPE とパワーコンタクトのハイブリッド インターフェイスを規定しています。この規格には、さまざまなアプリケーション向けの 7 つのコーディングが設定されており、8~16 A および 50~600V のパフォーマンス範囲をカバーしています。現在の PoDL（Power over Data Line）コンセプトがデバイスレベルで 50W に制限されているのに対し、SPE M12 ハイブリッドコネクタは IIoT デバイス、ロボットシステム、サーボドライブ、小型三相ドライブなどのハイパワー用途にも対応します。国際標準化された SPE の規格は、ネットワークの末端までイーサネットを行きわたらせ、スマート・マニファクチャリングの実現に貢献します。

PHOENIX CONTACT の経営委員会メンバーでデバイスコネクタ部門プレジデントの Torsten Janwlecke は次のように述べています。「TE Connectivity とのパートナーシップは、SPE M12 ハイブリッドコネクタの開発とグローバルマーケティングの成功の基盤となっています。デバイスレベルでは、新しい IEC 63171-7 規格のハイブリッドコネクタによって、データと電源のための 1 本のケーブルソリューションが実現し、貴重なコストとスペースの削減が可能になります。これにより、シングルペアイーサネットをフィールドレベルで普及させるための次のマイルストーンに到達しています。」

この共同開発では、まずコーディング 2（2 x 8 A / 50 V AC）の開発を行います。最初の製品リリースは、2023 年初頭を予定しています。

#### TE CONNECTIVITY について

TE Connectivity は、インダストリアル・テクノロジーリーダーとして、より安全で持続可能な社会の実現、より豊かな、つながる未来の創造に貢献しています。TE のコネクティビティおよびセンサソリューションは、広範

困の分野にまたがり、過酷な環境下において実績を持ち、自動車、産業機器、メディカル、エネルギー、データ・コミュニケーションからスマートホームに至る様々な産業の発展に寄与しています。8,000名を超える設計エンジニアを含む85,000名以上の従業員を擁するTE Connectivityは、世界約140カ国のお客様とパートナーシップを結び、『EVERY CONNECTION COUNTS』（私たちは、すべてのつながりを大切にします）という理念の下、これからも皆様のビジネスをサポートし続けます。詳細は[www.te.com](http://www.te.com) や各種SNS（[LinkedIn](#), [Facebook](#), [Twitter](#)）をご覧ください。

### PHOENIX CONTACT について

PHOENIX CONTACTは、ドイツに本拠を置く世界的なマーケットリーダーであり、電気制御、ネットワーキング、オートメーションのための未来志向のコンポーネント、システム、ソリューションを製造しています。100カ国以上に広がる世界的なネットワークと2万人を超える当社の従業員は、お客様との密接な関係づくりを行っています。PHOENIX CONTACTの幅広い製品群は、さまざまなアプリケーションや産業で最新の技術の利用を容易にし、エネルギー、インフラ、プロセス、ファクトリーオートメーションの分野に多数の実績を持ちます。詳細は当社ウェブサイト<https://www.phoenixcontact.com/> をご覧ください。

以上

### <フエニックス・コンタクト株式会社について>

世界55カ国以上の海外支社を展開し、従業員20,300人以上、創業95年以上の歴史を持つドイツの産業用接続機器、制御製品および通信機器のマーケットリーダー、フエニックス・コンタクト社の日本法人。日本国内では本社（神奈川県横浜市）をはじめ11拠点、および配送センター（神奈川県川崎市）を通じ、D I Nレール搭載用端子台・プリント基板用端子台・産業用コネクタなどの接続機器や、信号変換器・電源・リレーを中心とする電子機器、サージ保護機器、および産業用ネットワーク機器など10万点以上におよぶ製品の販売およびカスタマーサービスを行う。詳細はHPをご覧ください。<http://www.phoenixcontact.co.jp>

本リリースに関するお問い合わせ：フエニックス・コンタクト株式会社 経営企画部  
Tel: 045-471-0059 Contact: [info@phoenixcontact.co.jp](mailto:info@phoenixcontact.co.jp) / [www.phoenixcontact.co.jp](http://www.phoenixcontact.co.jp)